

各地区で農業祭・農協祭大盛況

地区で特色ある祭りを開催



当JAは11月から12月にかけて、管内各地区で農業祭・農協祭を開催しました。各地区で特色あるイベントを実施し、大勢の来場者でにぎわいました。

御殿場地区と富士宮地区では、当JAのイメージソングを歌詞・作曲した川口カズヒロさんが曲を披露。その他、イチゴやミカン、茶、米、サツマイモなどの特産物の販売や、青壮年部・女性部・生産組織・JA職員による模擬店など、各地区工夫を凝らした内容で、来場者は地場農産物の魅力に触れ、楽しんでいました。



農産物品評会・出品展示の様子(御殿場地区)



[ハローJAふじ伊豆]を歌う川口さん(中央左)(富士宮地区)



旬の地場農産物を即売(なんすん地区)



女性部員が手作り豚汁を販売(三島函南地区)

女性部員が相続・遺言学ぶ

8地区でセミナー開催



当JAは8月から全地区本部で女性部員を対象にした相続・遺言セミナーを開催しています。これは、令和5年度女性部事業計画に基づき、女性部の組織力強化と学習運動の展開を目的に8地区共通講座として開いているものです。

セミナーでは不動産相談課の職員が講師となり、相続の基礎知識や今からできる準備を説明。参加者からは「良い機会になった」と大変好評でした。



不動産相談課(左)が相続の基礎やJAの相談体制を説明

県東部地域が「SAVOR JAPAN」認定

地域の魅力・食文化を海外に発信



当JAや県東部の計42の団体・行政などで組織する「富士山麓・伊豆半島食の魅力推進協議会」が10月、農林水産省が推進する「農泊 食文化海外発信地域(SAVOR JAPAN)」に認定されました。

11月20日に沼津市内でキックオフミーティングが開かれ、関係者約70人が出席。同会会長を務める梶毅組合長は「関係団体が一体となり、地域の魅力を発信していきたい」と意気込みを語りました。



「農山漁村の魅力発見」と題しパネルディスカッションを実施



FUJIZU ふじ伊豆トピックス TOPICS



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JAふじ伊豆はSDGs「1~17の目標」につながる取り組みを行っています。各所に記載のマークはSDGs目標アイコンです。

管内生産者・児童が受賞

全国や県の品評会などで上位入賞



7月から12月、ワサビや米、イチゴなどの全国・県品評会、畜産共進会などが行われました。各賞の上位入賞者は次の皆さまです。敬称略、()かっこ内は地区名

令和5年度(第62回)農林水産祭 林産部門(産物・乾しいたけ)

内閣総理大臣賞 朝香博典(伊豆の国)

第38回全国わさび品評会

特賞・農林水産大臣賞 勝又京治(御殿場)

特賞・全国農業協同組合連合会理事長賞 浅田正孝(伊豆の国)

特賞・全国わさび生産者協議会長賞 塩谷修(伊豆の国)

特賞・静岡市長賞 浅田譲治(伊豆の国)

優秀賞 伊澤昌隆(伊豆の国)

鈴木昭弘(伊豆の国)、高羽文隆(伊豆太陽)、田代恵一(御殿場) 浅田藤紀(伊豆の国)、飯田茂雄(伊豆の国)、藤原公昭(伊豆の国) 鈴木晴久(伊豆の国)

第20回お米日本コンテスト in しずおか

最高金賞・静岡県知事賞 青壮年部高根支部(御殿場)

最高金賞 杉山浩也(御殿場)

金賞 小見山益彦(御殿場)

瀬戸信吾(御殿場)、遠藤博雄(御殿場)、杉山浩也(御殿場)

第25回米・食味分析鑑定コンクール国際大会 in つなん

金賞 高田哲夫(御殿場)

第13回大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト

優良賞 小松勝三(御殿場)

第12回米-1グランプリ in らんこし

入賞 小松勝三(御殿場)

第2回全日本お米グランプリ in 北広島町

準グランプリ 遠藤博雄(御殿場)

第77回全国茶品評会

3等級 山二園 後藤裕揮(なんすん)

荒井園 新井智(御殿場)、小林園 小林裕直(富士)

第50回関東ブロック茶の共進会

銀賞 小林園 小林裕直(富士)

第58回静岡県茶品評会

2等級 山二園 後藤裕揮(なんすん)

小林園 小林裕直(富士)

3等級 荒井園 荒井譲(御殿場)

小林園 小林由朋(富士)、まるは園 勝又製茶工場 勝又匠(富士)

第1回全国ジャガイモ選手権

入賞 三島馬鈴薯部会(三島函南)

第34回静岡県いちご果実品評会

金賞5席 永倉玄太(伊豆の国)

銀賞 神田豊通(伊豆の国)

高田祐樹(伊豆の国)

第97回静岡県畜産共進会・乳牛の部

静岡県知事賞 岩城正盛(三島函南)

最優秀賞 高橋実徳(伊豆の国)

岩城正盛(三島函南)

第97回静岡県畜産共進会・肉牛の部

優秀賞 (株)富士SUNRISE牧場(なんすん)

伊藤誠(伊豆の国)

第46回静岡県いちじく果実品評会

銅賞 北川佳延(あいら伊豆)

第32回静岡県キウイフルーツ果実品評会

銅賞 日吉義茂(あいら伊豆)

萩原直人(あいら伊豆)

令和5年度JA共済 静岡県小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール

書道の部・静岡県知事賞・金賞 八ツ木妃有(富士市立須津中学校2年)

佐野圭(学校法人静岡理工科大学星陵中学校1年)

西島華愛(熱海市立多賀小学校4年)

坪井彩夏(富士市立吉原北中学校1年)

交通安全ポスターの部 鈴木唯斗(富士市立元吉原小学校2年)

田村友陽(清水町立南小学校4年)

優秀学校賞(書道の部) 富士市立須津中学校



内閣総理大臣賞の朝香さん(農林水産祭)

農林水産大臣賞の勝又さん(全国わさび品評会)



最高金賞・静岡県知事賞の青壮年部高根支部の皆さま(お米日本コンテスト)



小・中学生書道・交通安全ポスターコンクールの入賞作品はこちらから(静岡県のJAホームページへ)

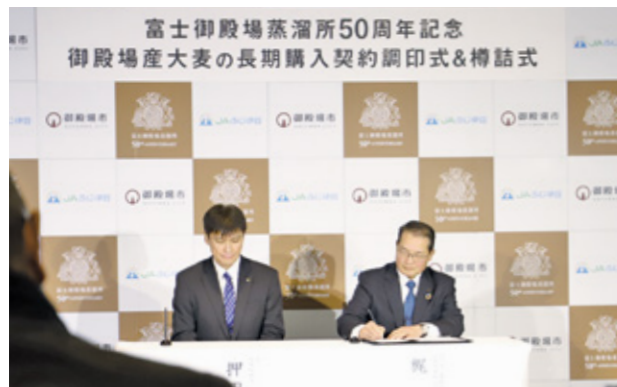
御殿場産大麦でウイスキー製造

50年の感謝を地域へ還元 麦生産者の期待大



御殿場市にあるキリンディスティラリー富士御殿場蒸溜所が操業50周年を記念し、御殿場産の大麦「ミカモゴールド」を使用したウイスキーの製造を開始しました。12月4日には「御殿場産大麦の長期購入契約調印式」が行われ、梶穀組合長とキリンディスティラリー(株)の押田明成社長が協定書へ署名しました。

同日は樽詰式も行われ、今回仕込んだウイスキーは5年以上の熟成を経て完成します。



協定書へ署名する梶穀組合長(右)

キャベツ防除にドローン

高い効き目と安全性、時間短縮を期待



市や富士宮農経センターなどで構成する富士宮市農業振興推進協議会は11月7日、JA子会社のキャベツ畑でドローンの農薬散布実演会を開きました。生産者や須藤秀忠市長、JA職員らが参加し、先進的なスマート農業への理解を深めました。

この日は、合同会社ソラモの協力で21.31アールに4リットルを散布。従来2人で約2時間の作業を2分30秒で完了し、労力軽減や時間短縮を実証しました。



キャベツ畑での飛行試験

料理の工夫次第で野菜克服

女性部が小学校に出前授業



伊東市のボランティア団体「伊豆高原きらめき」は、同市立八幡野小学校の「放課後子ども教室」で、苦手な野菜を克服することを目的に地場産の野菜を使った料理教室を開きました。

女性部あいら伊豆地区本部の部員が講師となり、児童が苦手なナスとトマトと一緒に調理。参加した多くの児童たちは「苦手な野菜も自分たちでおいしく調理したら食べることができた」と笑顔で話しました。



児童たちに野菜の切り方の手本を見せる女性部員

いちご狩りが開園迎える

糖度が高く品質上々



江間いちご狩り・伊豆長岡いちご狩りが今年も開園しました。今期も糖度が高く、品質の良いイチゴに仕上がっています。

江間いちご狩りでは、利便性向上にキャッシュレス決済を導入し、青空カフェスペースも新設。併せて、「あぐりチャレンジ事業」を活用した冷凍イチゴの製造・販売や通販、Instagramフォトコンテストなどを実施していきます。 ※最新の開園状況はホームページをご覧ください。



HPはこちら

「組織の集い」で渡部陽一さんが講演

部農会・女性部・青壮年部が交流



富士地区本部は11月7日、富士市のロゼシアターで組織の集いを開催しました。女性部と青年部による活動発表が行われ、組織の交流を深めました。

発表後には「戦場カメラマン」として活躍する富士市出身の渡部陽一さんの講演会を実施。現場で撮影した写真と共に独特な口調と身振り手振りで語られる戦地の状況に、参加者350人はじっと耳を傾け平和への思いを一つにしました。



戦地で感じた「人の絆の大切さ」を語る渡部さん

担い手支援へ

「西浦みかん」新規就農者が研修開始



なんすん地区本部は、「西浦みかん」の担い手減少と産地維持のため、県の「がんばる新農業人支援事業」を使った新規就農者の受け入れを始めました。

就農希望者は指導農家のもとで約1~2年間の実践研修などを経て、独立して農業経営を始めます。

研修生の岩本賢さんは「まずは地域の方に信頼してもらえるよう研修に取り組み、新規就農者のモデルになれるよう励みたい」と意気込みました。



指導農家(右)から収穫方法を教わる岩本さん

箱根西麓地域の農業継承

世代を超えてつながる“想い”



三島函南地区では、世代別の3つの生産者グループ「のら道の会」「箱根ファーマーズカントリー」「のうみんず」が受け継いできた“農業リレー”で、「箱根西麓三島野菜」のブランドを築き上げてきました。

3グループと行政・JAは11月27日、さらなる地域農業の発展に向けた対談を三島市役所で行い、伝統と歴史を守り続ける大切さや、時代の変化に即した戦略などを協議しました。



昭和38年結成「のら道の会」(前列)
平成16年結成「箱根ファーマーズカントリー」(後列右3人)
平成27年結成「のうみんず」(後列左5人)

カーネーションの新品種検討

試作栽培株の生育結果を調査



当JAと東伊豆花卉園芸組合は12月7日、カーネーションの新品種調査を県農林技術研究所伊豆農業研究センターで行いました。

東伊豆花卉園芸組合の組合員が試験栽培した約70品種を採花し、品質や発色、多収性、現地適応性などを調査。その結果をもとに優良品種を選抜しました。

今後は実際に次年度作付けする品種を検討していきます。



新品種の適応性などを確認する生産者